

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

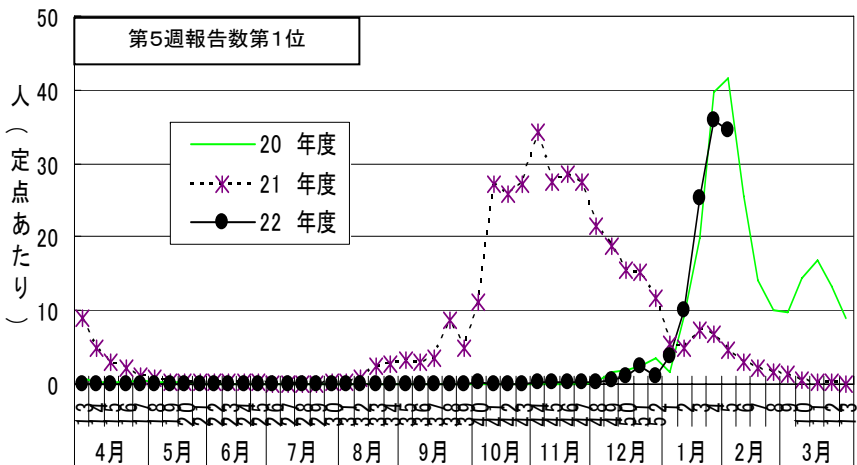


KAWASAKI CITY

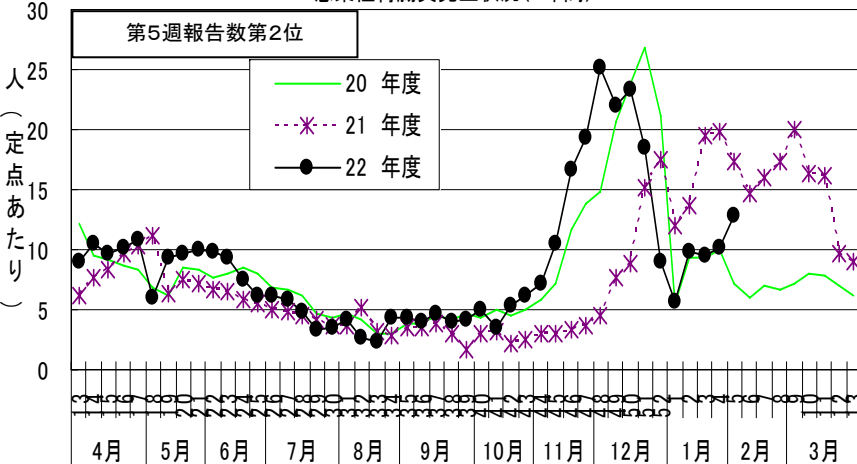
## 平成23年1月31日（月）～2月6日（日）〔第5週〕の感染症発生状況

第5週で報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。  
 インフルエンザは定点あたり34.50人と前週（35.87）より患者報告数はわずかに減少しておりますが、依然として流行発生警報基準値（定点あたり30人）を超えた高いレベルですので、引き続き予防を徹底するなど注意が必要です。  
 感染性胃腸炎は定点あたり12.76人と前週（10.21）より患者報告数は増加しておりますので、インフルエンザとあわせて感染性胃腸炎についての予防対策（便やおう吐物の処理等）も重要です。レジオネラ症の届出が1件（感染経路：不明、推定感染地域：神奈川県）ありました。

インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



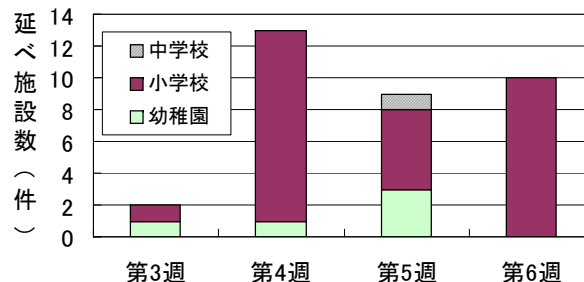
## インフルエンザ報告数わずかに減少！引き続き注意を！！

インフルエンザの患者報告数は、前週（第4週）で警報基準値（定点あたり30人）を超えましたが、第5週は1,863件（定点当り34.50）でわずかに74件減少しました。しかし、まだ高いレベルにありますので、引き続き注意が必要です。

右のグラフにあるとおり、今シーズンの学級閉鎖等の報告は第3週から始まり、第6週（2月8日15時現在把握分まで）まで、延べ34施設から報告をいただいています。

右下の表は、延べ34施設からの報告の詳細をまとめたものです。学校閉鎖はないものの、学年閉鎖が7件報告されております。

川崎市内の学校等の臨時休業実施状況(延施設数)



通常、インフルエンザは感染している人の咳やくしゃみ等の飛沫を吸い込むことで感染します。インフルエンザにかからないために一人ひとりが予防法を実践し、流行の拡大を防ぎましょう。

かかったかなと思った時は早めに医療機関へ行きましょう

施設種別	延べ施設数	学級閉鎖数	学年閉鎖数	学校閉鎖数	欠席者数	在籍者数	患者数
幼稚園	5	5	0	0	60	140	61
小学校	28	38	7	0	615	1556	623
中学校	1	1	0	0	22	40	22
合計	34	44	7	0	697	1736	706

## インフルエンザにかからないために気をつけたいこと

- ①外出から帰ったら手を洗い、うがいをしましょう。
- ②外出する時は、マスクを着用しましょう。
- ③不必要な外出はやめ、できるだけ人ごみを避けましょう。
- ④加湿をしましょう。
- ⑤十分な休養とバランスの良い食事、健康管理に気をつけましょう。



うがい手洗いで風邪予防